

ラックホールディングス株式会社

2008年3月期決算説明会

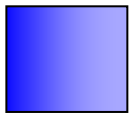
2008年5月21日

JASDAQ/Hercules (証券コード: 3857)

<http://www.lachd.co.jp/>

LAC
LAC Holdings, Inc.

©2008 Copyright LAC Holdings, Inc.



本日の内容

1. 2008年3月期通期業績
2. 2008年3月期通期業績概要
(一年換算比較)
3. 2009年3月期通期業績見通し
(一年換算比較)
4. 2009年3月期の重点施策

1. 2008年3月期通期業績

中期事業計画との比較

(連結)	2008年 3月期	LAC 12ヵ月 換算	LAC 15ヵ月 換算	2009年3月期	2009年3月期 見通し	2010年3月期	(百万円) 2011年3月期
売上高	20,300	19,879	21,899	22,000 (前年比108.4%)	22,000	25,500 (前年比115.9%)	30,500 (前年比119.6%)
システムインテグレーションサービス (SIS)	15,300	15,006	15,652	15,970 (前年比104.4%)	16,180 (内部相殺除く)	17,640 (前年比110.5%)	20,400 (前年比115.6%)
セキュリティソリューションサービス (SSS)	5,000	4,872	6,246	6,030 (前年比120.6%)	6,000 (内部相殺除く)	7,860 (前年比130.3%)	10,100 (前年比128.5%)
経常利益 <同率>	1,430 <7.0%>	1,383 <7.0%>	1,771 <8.1%>	1,810 <8.2%>	1,810 <8.2%>	2,650 <10.4%>	3,950 <13.0%>
(内シナジー効果分)	(150)	(158)	(158)	(300)	(300)	(700)	—
純利益 <同率>	820 <4.0%>	712 <3.6%>	897 <4.1%>	1,040 <4.7%>	910 <4.1%>	1,530 <6.0%>	2,290 <7.5%>
配当総額	330	159	159	365	340	425	520
株主資本配当率 (DOE)	5.0%	5.5% (配当を1年と換算した場合)	5.5%	5.0%	5.3%	5.0%	5.0%
一株当たり配当 (円)	12	6 (配当は6ヶ月決算による半期分)	6	13	13	15	19
一株当たり純利益 (円)	29.0	26.2	33.0	36.8	34.1	54.1	81.0
株主資本利益率 (ROE)	12.5%	12.4%	15.6%	14.3%	13.9%	18.1%	22.2%
総資産利益率 (ROA)	7.4%	6.2%	7.8%	9.1%	8.0%	12.8%	17.2%

<営業キャッシュフロー>

1,697百万円 1,975百万円

2,040百万円

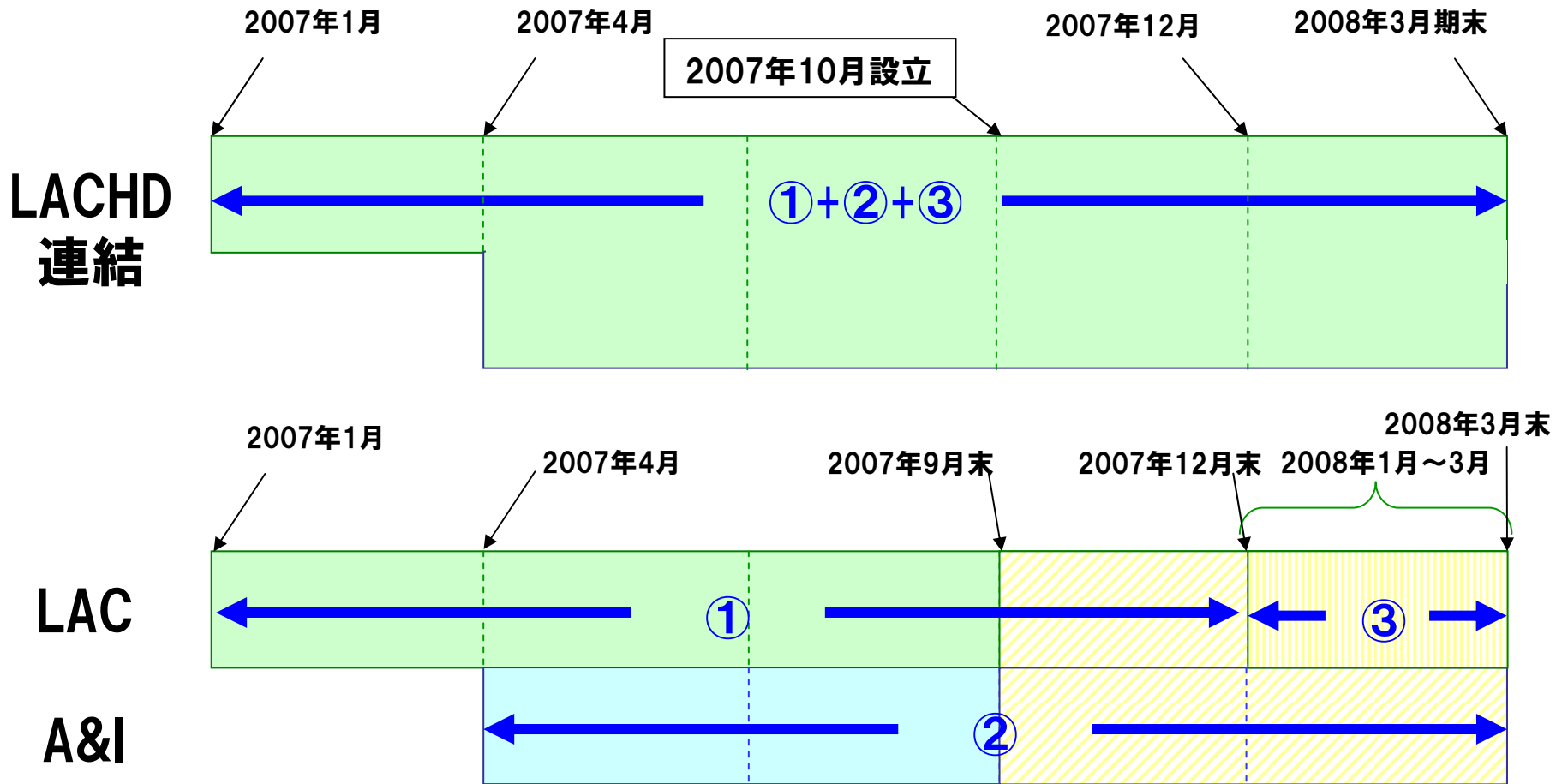
<EV/EBITDA倍率>

5.60倍

4.63倍

※ (有利子負債+時価総額) ÷ (営業利益+減価償却費)

決算期対象期間の取扱いについて



※LACHDの2008年3月期通期実績は、子会社の株式会社ラックが決算期を12月から3月に変更されたことから、平成19年1月1日から平成20年3月31日までの15ヶ月決算を反映

2. 2008年3月期通期業績概要 (一年換算比較)

2008年3月期の業績（一年換算）

(百万円)

(連結)	2007年3月期		2008年3月期		前期比	
	業績（単純合算）		通期業績		増減額	増減率
売上高	18,466	100.0%	19,879	100.0%	1,412	+7.6%
システムインテグレーションサービス (SIS)	14,115	76.4%	15,006	75.5%	891	+6.3%
セキュリティソリューションサービス (SSS)	4,351	23.6%	4,872	24.5%	521	+12.0%
売上総利益	4,585	24.8%	5,451	27.4%	865	+18.9%
販管費	3,264	17.7%	4,009	20.2%	745	+22.8%
営業利益	1,320	7.2%	1,441	7.3%	120	+9.1%
経常利益	1,175	6.4%	1,383	7.0%	207	+17.6%
純利益	742	4.0%	712	3.6%	△30	△4.0%

セグメント・品目別連結売上高（一年換算）

(連結)	2007年3月期		2008年3月期		(百万円)	
	業績（単純合算）	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
SIS	14,115	76.4%	15,220	76.6%	1,104	+7.8%
開発サービス	12,290	66.6%	13,699	68.9%	1,409	+11.5%
ソリューションサービス	850	4.6%	624	3.1%	△226	△26.6%
関連商品	974	5.3%	896	4.5%	△78	△8.0%
SSS	4,351	23.6%	4,979	25.0%	628	+14.4%
コンサルティングサービス	1,151	6.2%	1,302	6.6%	151	+13.1%
構築サービス	285	1.5%	368	1.9%	82	+29.1%
運用監視サービス	1,614	8.7%	1,869	9.4%	255	+15.8%
関連商品	1,300	7.0%	1,439	7.2%	138	+10.7%
内部相殺売上	—		△320	△1.6%	△320	—
合計	18,466	100.0%	19,879	100.0%	1,412	+7.6%

バランスシート（連結）

(百万円)

2008年3月期末			
流動資産	7,386	流動負債	4,135
現預金	2,723	買掛金	1,099
売上債権	3,621	短期借入金	1,710
繰延税金資産	342	1年内長期借入金	20
その他	698	未払い法人税等	261
固定資産	4,076	その他	1,044
有形固定資産	923	固定負債	1,537
無形固定資産	1,545	長期借入金	1,501
ソフトウェア	463	その他	36
のれん	1,075	負債合計	5,673
その他	7	純資産合計	5,789
投資その他資産	1,606	資本金	1,000
投資有価証券	544	自己株式	△8
繰延税金資産	370	有価証券評価額	△124
その他	691	その他	4,921
資産合計	11,462	負債・純資産合計	11,462

※ 自己資本比率:50.2%、総資産回転率:1.7回、ROE:12.4%、ROA:6.2%

2008年3月期 実績【グループ全体】

実績ハイライト

1. 財務施策

- KDDI（株）との資本提携（株主順位2位）
- 自己株式取得消却（160万株）
- DOE 5.5%（年換算）

2. コスト削減

- 管理部門集約
- 事業所の集約

3. 人材リソース施策

- SIS事業からSSS事業への戦略的なリソースの再配置（23人）
- 即戦力人材の積極的採用（68人）
- LACホールディングスでの来期新卒の一括採用活動（80人）

2008年3月期 実績【SIS事業】

実績ハイライト

1. 開発サービスのビジネス拡大
 - 重要顧客への営業強化
 - 高収益案件への人材再配置
2. 業種特化によるSI競争力向上
 - 銀行業界
 - 保険業界
 - 人材派遣業界
3. ビジネスモデル転換への基盤確立
 - グローバルなSIベンダーとの連携確立
(台湾ウィツ社*パートナー契約)
 - AMS**ビジネスへの布石として EZ Source*** 独占販売権契約

*台湾ウィツ社:グループ全体で従業員が約900人、アジアに7拠点を有する、台湾の代表的なITアウトソーシング企業

**AMS:(Application Maintenance Service :アプリケーション保守サービス)

***EZ Source : イージーレガシィ社が提供するSAP,COBOL開発保守ツール

2008年3月期 実績【SSS事業】

実績ハイライト

1. セキュリティ・コンサルティング・ビジネスの拡大
 - ログ統合管理、コンプライアンス管理、内部統制などの新規分野
2. KDDI（株）との事業提携と資本提携
 - KDDI（株）ブランドによるLACのサービス販売開始
 - 共同セミナー開催などのマーケティング強化
3. 新規サービス（コンプライアンス管理サービス）発表
4. 新規ソリューション強化
 - ArcSight社、Qualys社など競争力の高い製品ベンダーとのパートナー契約締結
5. 名古屋オフィス（トヨタ営業部）の開設
 - トヨタ・グループ向けビジネスの拡大

3. 2009年3月期通期見通し (一年換算比較)



2009年3月期 連結通期見通し (1)

～2008年3月期一年換算対比

(百万円)

(連結)	2008年3月期		2009年3月期		前期比	
	通期業績		通期見通し		増減額	増減率
売上高	19,879	100.0%	22,000	100.0%	3,121	+10.7%
システムインテグレーションサービス (SIS)	15,006	75.5%	16,180	73.5%	1,174	+7.8%
セキュリティソリューションサービス (SSS)	4,872	24.5%	6,000	27.3%	1,128	+23.2%
内部相殺売上			△180	△0.8%		
売上総利益	5,451	27.4%	6,150	28.0%	699	+12.8%
販管費	4,009	20.2%	4,290	19.5%	281	+7.0%
営業利益	1,441	7.3%	1,860	8.5%	419	+29.1%
経常利益	1,383	7.0%	1,810	8.2%	427	+30.9%
純利益	712	3.6%	910	4.1%	198	+27.8%

2009年3月期 セグメント・品目別連結売上高見通し ～2008年3月期一年換算対比

(百万円)

(連結)	2008年3月期		2009年3月期		増減額	増減率
	通期業績	構成比	見通し	構成比		
SIS	15,220	76.6%	16,180	73.5%	959	+6.3%
開発サービス	13,699	68.9%	13,931	63.3%	231	+1.7%
ソリューションサービス	624	3.1%	864	3.9%	239	+38.4%
関連商品	896	4.5%	1,385	6.3%	488	+54.5%
SSS	4,979	25.0%	6,000	27.3%	1,020	+20.5%
コンサルティングサービス	1,302	6.6%	1,630	7.4%	327	+25.2%
構築サービス	368	1.9%	370	1.7%	2	+0.5%
運用監視サービス	1,869	9.4%	2,550	11.6%	680	+36.4%
関連商品	1,439	7.2%	1,450	6.6%	10	+0.7%
内部相殺売上	△320	△1.6%	△180	△0.8%	140	+56.2%
合計	19,879	100.0%	22,000	100.0%	2,121	+10.7%

4. 2009年3月期の重点施策

目標とする経営指標

経営の基本方針：継続的な成長と安定的な収益確保

- ◆売上高伸長率：10%以上
- ◆ROE（株主資本利益率）：20%以上
- ◆ROA（総資産利益率）：10%以上
- ◆DOE（株主資本配当率）：5%

配当の方針

- ・長期的かつ継続的な配当水準を維持
- ・年2回の配当
- ・利益の変化や業績に左右されない安定的な配当

（参考）

・「DOE」（株主資本配当率）の算出方法

$$\text{DOE} = \text{配当総額} \div \text{株主資本}$$

→株主資本に対し、どの程度の配当が行われているかを示す指標

・DOEの実績平均値は、米国が 4.9%、日本が 1.9%（平成17年度ベース 生命保険協会調査より）

2009年3月期の重点施策【グループ全体】

重点施策（1／2）

1. グループ事業分野の拡充

- アプリケーションセキュリティ・サービスの拡大
- 保険業界への事業拡大
- 既存顧客への取り組み強化

2. グローバル展開

- 海外進出日本企業向けのサービス・ビジネス強化
（KDDI, WITS社との連携を基盤として）
- オフショア・デリバリー・リソースの確保

3. ISL社をLACHD直轄に再編

- 保険業界のコンプライアンス対応ソリューションを推進しグループ全体の戦略分野として位置づける

2009年3月期の重点施策【グループ全体】

重点施策 (2/2)

4. 財務戦略

- グループ全体の資金運営を一元化、資産の効率的運営
(CMSを運用ツールとして導入)
- 純資産と負債の適切バランス、資産回転とROA向上を重視
- 利益を事業再投資および株主還元適切配分

5. 人材育成

- リーダーシップ、プロフェッショナル

6. 社内システムへの積極的なIT投資

- 生産性向上&コスト削減
- 内部統制強化

7. 積極的なM&A、事業提携の推進

- 事業分野の拡充、規模の拡大

8. CSR推進

- 環境問題への本格的な取り組み
 - カーボンオフセット、グリーン調達など具体的目標を上期に設定

2009年3月期の重点施策【SIS事業】


重点施策

1. 業種特化による業務ノウハウ蓄積とシェア拡大
 - 人材派遣業界の大規模SIから中堅企業 SaaS モデル提供までのトータルソリューション提供
 - 保険業界コンプライアンス対応への展開
2. 付加価値提供型ビジネスモデルへの変革
 - SAPを中心としたAMSサービス（EZ Source）の提供
 - アプリケーションセキュリティサービスの強化
 - SaaS 型サービスの提供
3. 海外リソースの積極的な活用
 - 大規模なリソース提供に対応する海外リソースの調達と活用
4. グローバル展開
 - 中国を中心として海外進出日本企業向けのビジネス強化

2009年3月期の重点施策【SSS事業】

重点施策

1. コンサルティング事業拡大
 - コンプライアンス管理サービスの強化
 - ログ統合管理サービス
 - 主要製品ベンダーとのパートナーシップ強化
2. KDDI（株）との事業提携のさらなる推進
 - KDDIとLAC社共同開発新規ソリューションの推進
 - 中国における情報セキュリティサービス開始
3. 名古屋営業部強化
 - 営業、SEの増強
 - トヨタ・グループ向けビジネスのさらなる拡大



本資料について

本資料は、現時点における情報に基づいた将来に関わる予測が含まれております。それらは今後の経済状況や情報サービス業界の動向などにより変動する可能性があります。

従って、当社が本資料によって投資等判断の確実性を保証または約束するものではありません。予めご承知おきください。



ご清聴ありがとうございました

IRお問い合わせ窓口:広報室

Tel; 03-5537-1406

Fax; 03-5537-1405

E-Mail; lac-ir@lac.co.jp